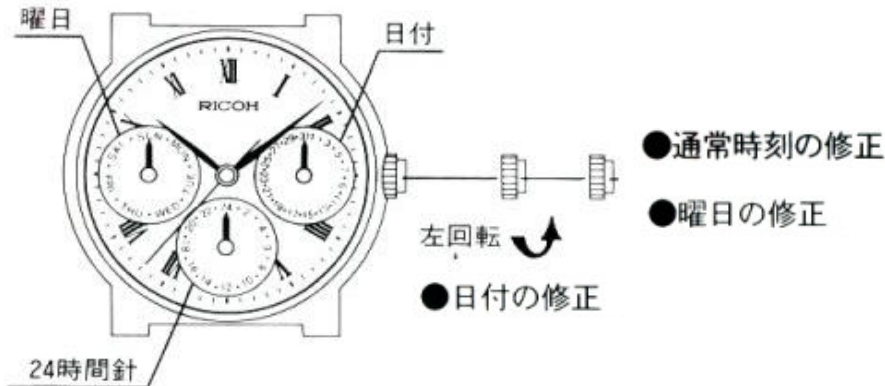


取扱説明書 862型 完成品

[1] 特 徴

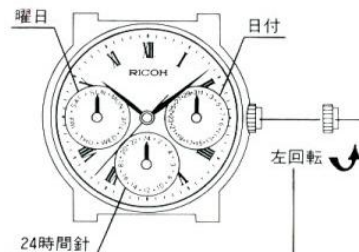
通常の中3針による時刻表示の他に日付、曜日、24時間表示を針で表示する。
アナログクォーツ時計です。

[2] 外観と時刻合せ概略案内



[3] 使用方法

各部の名称



●通常時刻の修正

秒針が0秒位置で停止する様にリュウズを2段引きにして時・分針の針合わせをします。
分針は一旦合わせたい時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせてください。
注) 午前・午後を間違えないように合わせて下さい。
時刻合わせが終了したら時報に合わせてリュウズを押し込むと同時に秒針がスタートします。

●曜日の修正

曜日の修正はリュウズを2段引きにして正回転（時・分針を時計方向に回転）させて修正してください。リュウズを逆回転（時・分針を反時計方向に回転）させて、曜日の修正を行なうと日付が切替らないことがあります。
注) 曜日は午前0時頃から午前5時半前後迄には切替ります。
注) 午前0時頃～午前4時30分までは曜日の修正はしないで下さい。曜日が変わらない場合があります。修正はその時間帯以外で行い、曜日修正後に正しい時刻に合わせて下さい。

●日付の修正

リュウズを1段引きにしてリュウズを左(下の方向)へ回転させて日付の早修正を行います。また午後9時前後から午前0時前後の間に早修正を行うと、翌日になっても日付が替わらないことがあります。
注) 午後9時～午前1時まででは日付の修正はしないで下さい。
日付が変わらない場合があります。その時刻に修正する場合は時刻をずらせてから合わせて下さい。

※12時間針は時・分針に連動しています。24時間針のみの修正はできません。